

日本代表選手海外派遣における新型コロナウイルス陽性確認者発生について
ハンガリー・ブダペスト WC 大会（第 2 報）

20210316

公益社団法人日本フェンシング協会
強化本部

昨日（3月15日）ご報告致しました様に、3月より、東京オリンピックに向けた国際競技大会が再開し、海外への日本代表選手の派遣も再開されましたが、日本時間3月14日深夜に、ハンガリー・ブダペストで行われているワールド・カップ大会（男女サーブル）において、現地の帰国時検査におきまして3名の選手に陽性反応が確認され、現地での隔離・観察が行われています。

これに加えて、本日（3月16日）、同海外派遣チームの帰国時の羽田空港の検疫において、選手1名とコーチ1名の陽性が確認されたことをご報告致します。この2名につきましては、微熱や頭痛などの症状を示しており、宿泊施設において隔離・観察の措置が取られています。

これをもちまして、今回派遣された男女サーブルチーム総計24名（選手17名（男子9名、女子8名）、コーチ他スタッフ7名）のうち、選手4名、コーチ1名の計5名に陽性が確認されました。

今次、帰国時に国内において陽性が確認された2名につきましても、当協会医学委員会が逐次連絡を取り、選手の安全確保に努めております。

選手、スタッフ、ご関係者の皆様にはご心配をお掛け致しますが、最善を尽くし対応を致しますので、ご理解を賜ります様お願いを申し上げます。

以上